

みずほCustomer Desk Report 2017/08/16号(As of 2017/08/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.21 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.94	1.1776	129.48	0.9725	1.2966	0.7856
SYD-NY High	110.85	1.1792	130.03	0.9758	1.2970	0.7876
SYD-NY Low	109.61	1.1687	129.09	0.9703	1.2846	0.7808
NY 5:00 PM	110.69	1.1736	129.85	0.9726	1.2871	0.7820
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.315/8.715		25RR	0.985	Yen Call Over	
NY DOW	21,998.99	5.28	債券市場			
NASDAQ	6,333.01	▲ 7.22	日本2年債	-0.1120	▲ 0.3bp	
S&P	2,464.61	▲ 1.23	日本10年債	0.0500	▲ 0.8bp	
日経平均	19,753.31	216.21	米国2年債	1.3465	2.8bp	
TOPIX	1,616.21	17.15	米国5年債	1.8253	5.6bp	
シカゴ日経先物	19,730.00	130.00	米国10年債	2.2728	5.4bp	
ロンドンFT	7,383.85	29.96	独10年債	0.4330	2.7bp	
DAX	12,177.04	11.92	英10年債	1.0840	1.3bp	
ハンセン指数	27,174.96	▲ 75.27	豪10年債	2.6480	3.0bp	
上海総合	3,251.26	13.90	為替市況	USD/CNH	6.6963	0.0063
USDJPY 3M Vol	8.92	▲ 0.14%	ドルインデックス	ドルインデックス	93.85	0.44
USDJPY 6M Vol	9.14	▲ 0.09%	商品市況	CRB指数	176.305	▲ 1.20
EURJPY 3M Vol	9.21	▲ 0.08%		NY金	1,279.70	▲ 10.70
EURJPY 6M Vol	9.60	0.00%		WTI	47.55	▲ 0.04
				Dubai Spot	49.45	▲ 0.84

東京  
東京時間のドル円は109.94レベルでオープン。日経平均株価が前日比100円超高で寄り付き堅調推移となったことや、この日は五・十日に当たることから仲値にかけて実需勢のドル買い強まったこと等を背景にドル円は堅調推移となり110.20台まで上昇。トランプ米大統領との電話会談を終えた安倍首相の「あらゆる事態に備えて日米同盟の下、高度な監視態勢やミサイル防衛態勢をとる」との発言が伝わったが、市場の反応は限定的。その後は特段の材料無い中で動意に乏しい推移が続いたが、引けにかけて再び買いが強まり110.45まで上昇した後、110.36レベルで海外へ渡った。(東京15:30)

ロンドン  
ロンドン市場のドル円は110.36レベルでオープン。前日にダロリ-NY連銀総裁が「経済が予想通りに進展した場合は今年3回目の利上げを支持する」と表明し米金利が上昇基調にあることや、北朝鮮がアムへのミサイル発射を遅らせる姿勢を示し、米朝間の緊張がやや緩和したこと等を受け、ドル円は110.48まで上昇。その後は目立った材料も無かったことから小動きとなり、110.43レベルでNYに渡った。ポンドは1.2963レベルでオープン。英EU離脱戦略に関する政府文書の抜粋では、離脱後の混乱回避を目的に暫定関税同盟を提案する方針が示されたが、市場では英政府の(楽観的)提案は結局EUに拒否される可能性が高いと判断したためポンド売りで反応。デ・ヒスEU離脱担当相が「暫定的な関税同盟を結ぶための対価を支払うべきではない」と発言したことも、現実性を欠くことから、1.2930まで下落。その後発表された英7月CPIが前年比+2.6%と市場予想(+2.7%)を下回ると、英中銀の利上げ観測が遠のき1.29割れを示現。その後、欧州議会で英EU離脱問題を担当するヒューズ氏(バルキ-元首相)が暫定措置について「幻想」であるとツイッターで批判したことも相俟って、ポンドは対ユーロで7年ぶりの安値圏となる0.9132まで売られた。対ドルでは、1.2865まで下落した後、1.2868レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1756レベルでオープン。独第2Q・GDP成長率の鈍化(結果:前年比+0.6%、予想+0.7%)を背景に、1.1721まで下落。1.1739レベルでNYに渡った。(ロンドン7月- 00531 444 179 山本)

ニューヨーク  
NY時間のドル円は110.43レベルでオープン。朝方は米7月小売売上高が予想を上回り、前回、前々回分も上方修正されたことに加え、同時に発表の米8月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を大きく上回ったことから更にドル買いが強まり、110.85まで上昇する。しかしこの水準では戻り売り意欲も強く、110.40まで反落。午後は翌日のFOMC議事発表を控え、狭いレンジでの推移が続くが、終盤に掛けて金利上昇を背景にしたドル買いにじり高で推移し、110.69レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、独第2Q・GDPが予想を上回ったことから一時1.1721まで下落し、1.1739レベルでNYオープン。朝方は良好な米経済指標の結果を受けたドル買いに1.1687まで下落する。しかしこのレベルではユーロ買い意欲は強く、1.1743まで戻す。午後は狭いレンジでの推移が続く。1.1736レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本・森谷

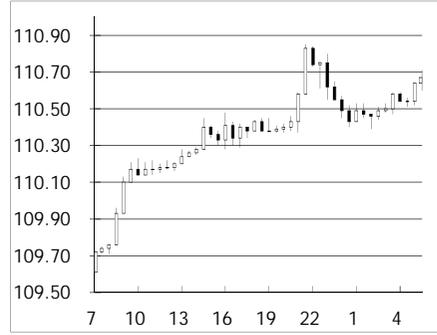
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月15日	10:30	豪 RBA議事要旨	-	-
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	6月 2.2%/5.5%	-/-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	7月 -0.1%/2.6%	0.0%/2.7%
	21:30	米 小売売上高(前月比)・速報	7月 0.6%	0.3%

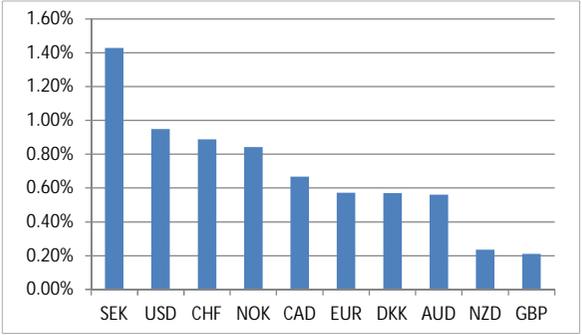
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月16日	17:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	6月 4.5%	4.5%
	17:30	英 週平均賃金3ヶ月(前年比)	6月 1.8%	1.8%
	18:00	欧 GDP・改定値(前期比/前年比)	2Q 0.6%/2.1%	0.6%/2.1%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	3.0%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	7月 1,220K/1,250K	1,215K/1,275K
8月17日	3:00	米 FOMC議事要旨	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.40-111.30	1.1650-1.1760	129.50-130.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は上昇した。発表された米7月小売売上高、米8月NY連銀製造業景気指数の結果がいずれも良好なものであったことからドル買いが進行し、110.85の高値までドルが強含んだ。本日のドル円相場は底堅い展開を予想する。昨日発表された米7月小売売上高は前月分や前々月分までもが上方修正されており、米国消費の力強さを窺わせるものとなった。本日海外時間に発表される米FOMC議事要旨の内容を見極める必要はあるものの、このところ良好な結果が相次ぐ米経済指標、Fed高官からの利上げに前向きな発言、北朝鮮情勢の緊張緩和にもサポートされ、米金利が上昇基調にあることも相俟ってドル買いが優勢となりそうだ。